

# 旅行記\*滞在3日目

## ダンディー⇒カーライル

白井美帆

イギリス滞在3日目。まだ現地の時間に体が慣れていないのかどうなのか、モーニングコールより少し早めに起床。

海に面した窓から外を見ると空が朝焼けしていて一気に眠気が覚めました。これは日の出が期待できると、カメラを構えて待つこと10分……それで、撮れたのが、この写真。日本でも同じ太陽を見ているはずなのになんか違うなーと、なんかしみじみとしてしまいました。

本日はダンディーからカーライルへのバス移動が主な内容。経由地は、セントアンドリュース、アニック城、ハドリアヌスの壁など…今日はとことん観光名所を回りますっ！



さて、朝食の前に早起きしたメンバーで近場を散歩しに向かいました。港町とだけあって、海からの風がとても気持ちよかったです。

ダンディーは前日に行ったエジンバラよりも都会的な町並み(マンチェスターほど都会的ではないけども)。でも、日本にはない「古」と「新」の調和が素敵でした。さすがは景観主義国☆古いものをどんどん壊して、新しいものをガンガン造る母国にも見習ってほしいものです。

時刻は午前八時…すぐ近くにダンディー大学があるのでもう少し人気があってもいいような感じなのですが、町は閑散としていました。それもそのはず。今日は日曜日、キリスト教信者の方々は教会で礼拝をしなければならないそうです。

だから、お店もあまり開いていないっ！あーあ…今日はお土産買えないな……

朝食を食べて専用車へ。前日に引き続き、バスの運転手はブライアンさん、ガイドは田村さんです。今日もよろしくお願いします。

まず向かったのは港。そこには冒険家ロバート・スコットが南極探検のために乗っていったという船、ディスカバリー号のレプリカがありました。

写真で見ると立派なのですが、実物はものすごく小さかったです。たぶんこのメンバー15人がぎりぎり乗れるか乗れないかぐらいのサイズ



でした。正直、本当にこれで南極までいけたのか半信半疑です。

その後、大聖堂と墓地を見ました。やっぱり日本とは雰囲気違いますね。

でも、夜中に行ったら怖いだろうなーという空気は日本のお寺と同じです。



続いて向かったのはセントアンドリュース。すぐ横には海岸が広がっていて、海風が強かったです。ここは、ゴルフをやっている人なら一度はプレーしてみたいと思う聖地らしいです。石川遼君が出場する全英オープンもここで開催されるらしいですね☆

でも日曜日なので、ゴルフをやっている人はいませんでした。そのおかげでコース内をのんびりと見学することができたともいえるのですが。

みんなで写真を撮ったのはこの小さな橋がある 18 番ホール。セントアンドリュースのなかで最も有名なコースらしいのです。

「お父さんに自慢するー」と言っていた子もいました。

しかしながら、一番忘れられないのは山崎先生(ゴルフをやっているそうです)の大暴走ですかね…(苦笑。



そのまた次に向かったのはアニック城。イングランド北部ノーサンバーランド州アニックにあります。

この外観に見覚えがあるという人も多いのでは？ここは映画『ハリーポッター』のロケ地となった場所です。その他にも『ロビンフッド』など有名な映画の撮影場所とし使われています。城の周囲はとてものどかで、羊が遊牧されていました。イギリスのお城を見るのはこれで二か所目(一か所目は前日のエジンバラ城)です。やっぱり日本とは違う迫力と威厳がありました。

でも残念ながら、開城は四月からで中に入ることはできませんでした。



そして最後はハドリアヌスの長城。ハドリアヌスの長城はイングランドとスコットランドの国境付近にあるローマ帝国時代の城壁です。簡単にこの歴史を述べると、ローマ帝国の皇帝ハドリアヌスは領土へのケルト人の侵入に悩まされていました。それで、その侵入を防ぐために築いたのがこのハドリアヌスの長城です。中国の万里の長城のイギリスヴァージョンとってください。

ハドリアヌスの壁はちょっと高めの丘の上にあったので頂上まで登りました。一部は頂上までランニング、最後の坂がきつかったです。

高い所にあるだけあって景色はすごく良好。空気もきれいでした。

最後に一言。壁の上で「イエーィ☆」とかやっていますが、このハドリアヌスの壁、ユネスコ世界遺産に登録されています。だからなんだってわけでもないんですけどね。

